

ファン付ルーバー・ステンレス製 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 (この説明書は必ず保管しておいてください)

安全のための注意事項


施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを『危険』『注意』として区別してあります。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起りえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起りえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■ファンに対するご注意

⚠ 注意	
 <p>回転物注意</p>	<p>けがの恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィンガーガードを外さないでください。 ・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。 ・保守・点検作業は必ず電源を切り、ファンの羽根が停止した事を確認してから行ってください。

■使用上のご注意

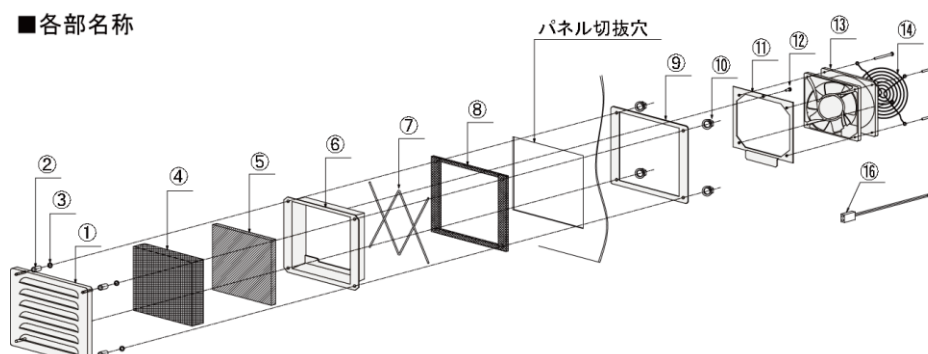
⚠ 危険	
本機の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与える恐れがある場所には使用しないでください。	

⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ファンは精密機器ですので振動・衝撃などを与えないでください。故障の原因となります。 ・保守、点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。 ・定格電圧でご使用ください。故障の原因となります。 ・次のような場所では使用しないでください。故障・感電・火災等の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ●高温、高湿となる場所 ●腐食性ガスのある場所 ●可燃性ガスのある場所 ●可燃性ガスが漏れる恐れのある場所 ●極度に塵埃やオイルミストが多い場所 ●振動、衝撃のある場所 ●ノイズ、電界、磁界の強い場所 ●塩分を多く含んだ場所 	

■施工上のご注意

⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。 ・本製品を屋外で使用する場合、筐体取付面の反り、変形、パッキンの劣化等により所定の防水性能が得られない場合があります。そのような場合は市販のシリコン等によるコーキング処理をおすすめします。 ・電源リード線がファンに巻き込まないように結束バンド等で固定してください。感電や焼損する恐れがあります。 	

■各部名称



⑬・⑭・⑮・⑯は
ファン付の場合のみ

■部品

① ルーバー本体	1個	⑨ 押え棒	1枚
② ジュラコンスベーター	4個	⑩ フランジナット(M5)	4個
③ ナイロンワッシャ	4枚	⑪ フィルターカバー	1枚
④ 水切フィルター	1枚	⑫ フィルターカバー取付ローレットビス	1本
⑤ 防塵フィルター	1枚	⑬ ファン	1個
⑥ フィルターケース	1個	⑭ フィンガーガード	1個
⑦ フィルター押え金具	2個	⑮ ファン取付ビス(M4)	4本
⑧ 防水パッキン(t=3)	1枚	⑯ ファン電源コード(1m)	1本

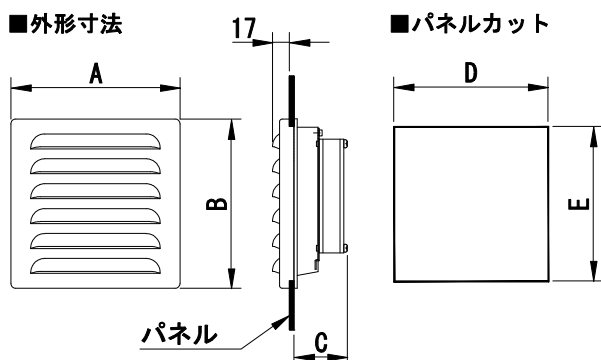
■ 仕様

ファン付ルーバー・ステンレス製 フィルター付

キャビネットの強制換気にご利用ください。

特長

1. 水切フィルターを取付けることにより防水性に優れた構造になっています。
※屋外用として使用することができます。
2. キャビネットに角穴加工のみで簡単に取り付けることができます。
3. 付属のファンはフィンガード、電源コードがセットとなっています。
4. フィルターは再利用が可能です。
5. 塗装色はベージュ色 5Y7/1 とクリーム色 2.5Y9/1 の2色からお選びください。



品番	品番	寸法 (mm)					定格電圧 AC (V)	周波数 (Hz)	入力 (W)	最大風量 m ³ /min	最大静圧 (Pa)	騒音 (db)
		A	B	C	D	E						
GFS-80W	GFS-80C	140	140	52	125	125	100	50/60	5/4.5	0.39/0.43	39.2/52.9	33/36
GFS-90W	GFS-90C	140	140	52	125	125	100	50/60	10/9	0.42/0.50	46.1/62.7	36/39
GFS-120W	GFS-120C	170	170	65	155	155	100	50/60	16/15	1.1/1.2	88.2/88.2	45/49

ルーバー

- 材質 ステンレス (SUS304)
- 材厚 ルーバー 1.5mm
フィルターケース 1.2mm
押え枠 1.2mm
フィルターカバー 1.0mm

水切フィルター

- 材質 塩化ビニリデン

防塵フィルター

- 材質 ポリエステル/ポリクラール

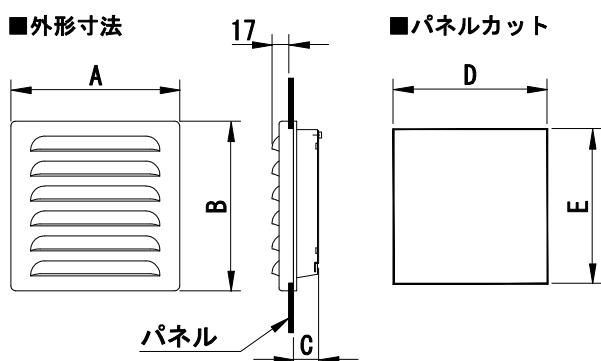
- 材質 塩化ビニル被覆鉄線

ファン

- 材質 フレーム アルミダイキャスト
羽根 ポリカーボネイト

ルーバー・ステンレス製 フィルター付

キャビネットの自然換気、ファン付ルーバーに対する吸排気口にご利用ください。



品番	品番	寸法 (mm)				
		A	B	C	D	E
GFS-80W-FN	GFS-80C-FN	140	140	25	125	125
GFS-90W-FN	GFS-90C-FN	140	140	25	125	125
GFS-120W-FN	GFS-120C-FN	170	170	25	155	155

ルーバー

- 材質 ステンレス (SUS304)
- 材厚 ルーバー 1.5mm
フィルターケース 1.2mm
押え枠 1.2mm
フィルターカバー 1.0mm

水切フィルター

- 材質 塩化ビニリデン

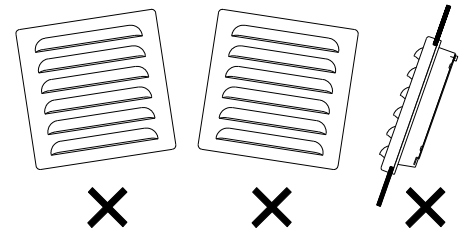
防塵フィルター

- 材質 ポリエステル/ポリクラール

- 材質 塩化ビニル被覆鉄線

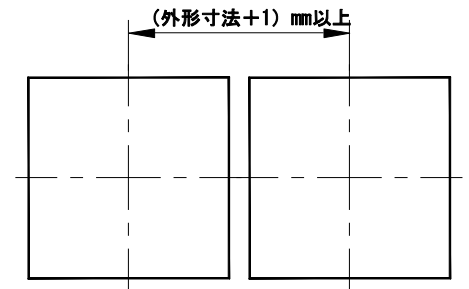
■ 取付

1. 吸気口及び排気口の通風を妨げないように取付位置に注意してください。
(■上手な使用方法を参考にしてください。)
2. 水抜き穴からの排水が確実に行われるよう取付の角度に注意してください。
(右図参照)
3. フィルター交換が可能な空間を確保してください。
4. 工場出荷時はファンを排気側で取付けております。ファンを逆向きに組替えることにより吸気側で使用できます。
なお、風向、羽根の回転方向は、ファン側面に表示しております。



●取付方法

- ① 筐体に図に従って抜き穴加工してください。
注) 1. パネルカットの大きさは換気・防塵・防水性能に影響しますので、指定寸法通りに加工してください。
2. 取付面にバリが生じた場合には防塵・防水性能に影響しますので、バリ取りを行ってください。
3. 付属取付ねじでの適用板厚は 1.0~3.2mm です。
4. 本器を連結して使用する場合の取付ピッチは (外形寸法+1) mm 以上とってください。(右図参照)
- ② 本取扱説明書の ■各部名称 に記載しております図を参照の上、筐体に確実に固定してください。
注) ルーバーが変形する恐れがありますので、締付け過ぎないでください。
また、締付けの際には各ねじを均等な力で締付けてください。
適正締付けトルク : 2.04N・m (20kgf・cm)



■ 結線

1. 電圧は銘板の表示電圧に従ってください。
注) 使用電圧は定格電圧の±10%以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。
2. 電源リード線 (黒) の電線への接続は、圧着端子 (絶縁キャップ付) で行ってください。
3. ファンのアース接続を確実に行ってください。

■ 保守点検

1. フィルターは定期的に変換又は清掃を行ってください。
(フィルターは1週間に1度以上清掃し、1年間使用したものは交換することをおすすめします。)
なお、交換用のフィルターはオプション部品として用意しておりますので別途ご用意ください。

●フィルター交換方法

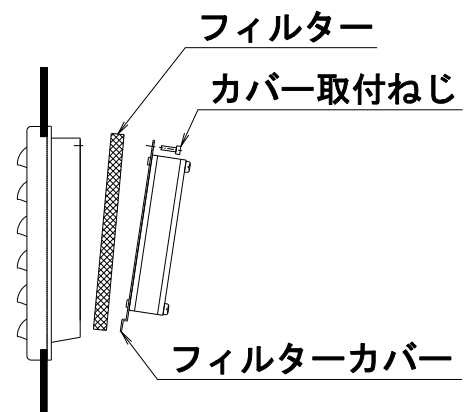
フィルターカバー取付ビスを取外し、フィルターカバーを取外してください。

●フィルター清掃方法

- ① 圧縮空気により塵埃等を吹き飛ばす。
- ② 掃除機による清掃。
- ③ 水槽内での押し洗い。

中性洗剤を 40℃程度のお湯に薄め ([洗剤 5] : [お湯 95] の割合) 一昼夜浸漬後、押し洗いをして、清水によりすすぎ洗いをしてください。なお、洗浄後は自然乾燥を行ってください。

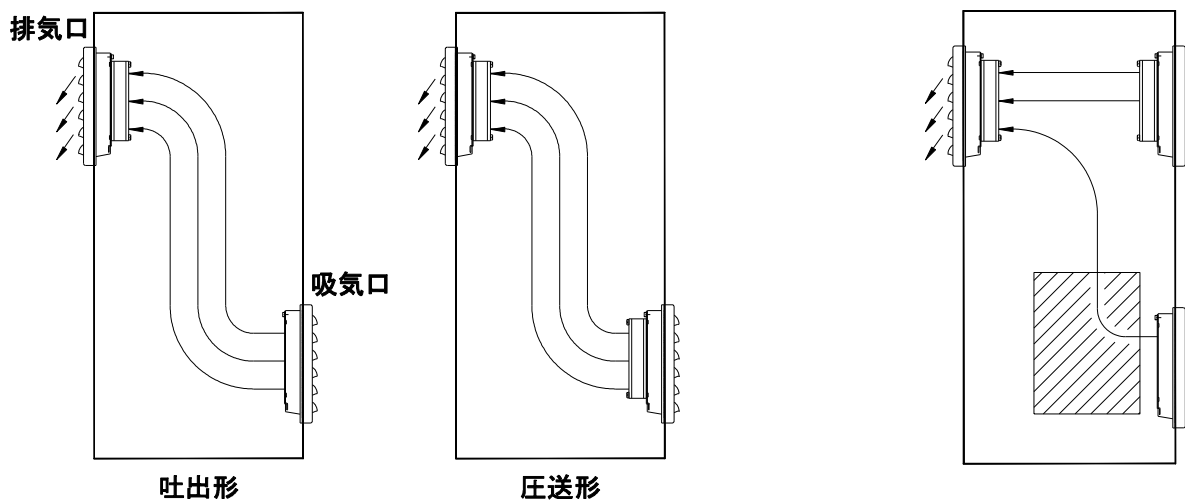
2. ファンには寿命がありますので定期的に変換をしてください。
注) ファンの風向に注意してください。風向、羽根の回転方向はファン側面に表示しております。
なお、交換用のファンはオプション部品として用意しておりますので別途ご用意ください。



■ 上手な使用方法

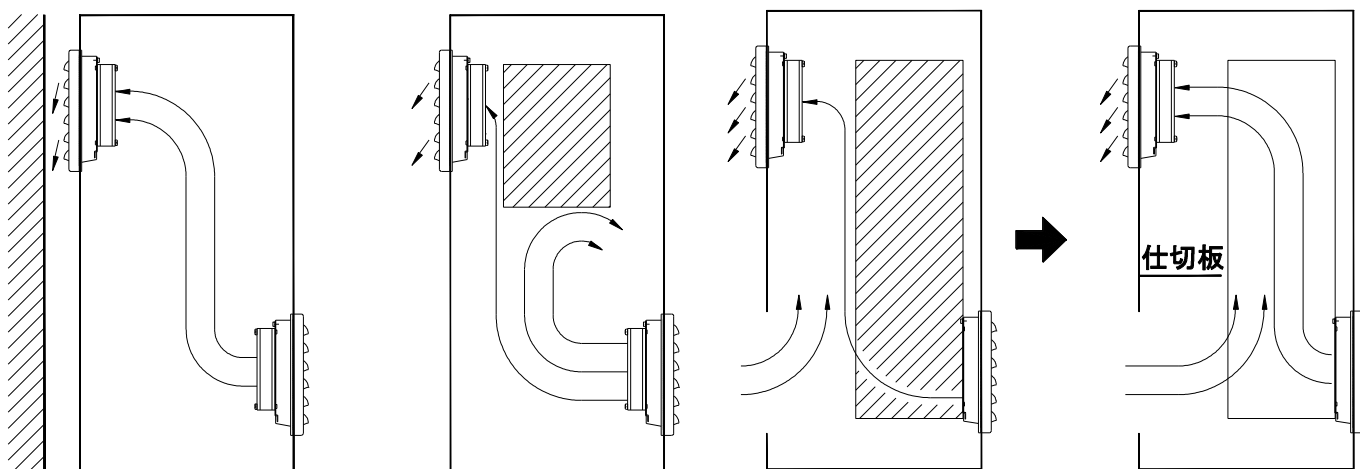
・ 筐体には通風口（吸・排気口）を設けてください。

・ ファンの近くで漏れが多いと肝心の発熱部分にあまり風が流れなくなることがあります。



・ ファンの排気口又は吸気口に障害がある場合、風量が著しく低下したり、騒音の原因になります。

・ 通風路の設定により筐体の風速分布が不均一になると局部的に温度が高くなります。



注) 1. 経済的な省エネ運転をする場合は温度調節器と組み合わせてご使用ください。

2. 本器を屋外筐体を使用する場合は、降雨時等の温度低下によりファンが停止するように温度調節器と組み合わせて使用することをおすすめします。